



## PICKUP INFORMATION

今月号も引き続きロシア国内の状況をお伝えさせていただきます。

5月の連休が過ぎ、人々の動きが活発になってゆくと同時に、感染者の数は急激に増えてきています。1日当たりの感染者数は約2万人に上り、昨年11月と同等の感染者が出ています。

このような状況をうけ、政府はワクチンを積極的に受けるように新しい対策を作っています。ワクチン接種率が11%台から大きく伸びていない事から、モスクワでは接種していない人や入店72時間以内にPCR検査を受けていない人は飲食店への立ち入りを禁ずる策を発令しました。またバカンスシーズンを前に人気の黒海リゾート（例：ソチ、クリミアなど）へ行くためにはワクチン接種の証明書が必要となりました。

またプーチン大統領の指示で7月15日からロシアで働く外国人が有料でワクチンを受けられるようになるそうですが、一部で話題となった外国人向けのロシア・ワクチンツアーについては具体的な話は聞こえてこず、まだまだ進んでいないようです。

## VLADIVOSTOK VOICE

感染者の増加に伴って、ワクチンを接種できる場所が増えています。今月はサーカスもオープンされて、接種した人は無料でチケットをもらえます。

ウラジオストクに新しい観光サービスが誕生しました。市内の観光名所をバスでつなぐシティツアーで中央広場から1日3回出発しており、オーディオガイドで日本語もあります。<https://mycitytour.ru/>

太平洋を題材にしたロシアン・ファンタジー「イクラ・ショー」が開幕しました。毎週の金曜日、国立経済サービス大学の劇場で行われています。<https://www.vl.ru/afisha/vladivostok/event/143418>



シティツアーバス

## KHABAROVSK VOICE

ハバロフスクではコロナウイルス感染者の急増に加え、モスクワで発令された非ワクチン接種者の活動制限の影響から、接種希望者が激増し、6月末の時点でワクチン不足が深刻な問題になっています。6月に計画されていたコンサートやイベントの多くは延期が発表され、秋以降にリスケジュールされたようです。

ハバロフスクのシンボル、アムール川の水位が例年より大分高くなっており、洪水の危険が迫っていると、自治体は急ピッチで防水ダムの建設を指示し、また川の中州にある村の住民の避難も行っています。



水位の高いアムール川

## OUR LIFE

出産予定日まで一カ月を切りました。おなかが大きくなってきて、なかなか動くことがつらく、家事も大変になってきたことから、初めて清掃業者を呼びました。47m<sup>2</sup>のアパートは1.5万円ぐらい。1万ルーブルは高く感じますが、自分が疲れていないのにアパートは綺麗になり大満足です！よく晴れていた6月には郊外に遊びに行きましたが、これからはずっと市内でのんびり過ごすつもりです。 **ウラジオストク/クセニア**

去年キャンセルを余儀なくされたクリミア半島へ旅行に行こうと計画を立てていますが、8月1日から黒海リゾートで宿泊には接種証明書が必要になるので、先日、1回目のワクチン接種をしました。ワクチン接種には不安が多く、怖かったのですが、仕方がないと思い、決断をしました。接種後は体温があがり、倦怠感もありましたが、3日目は元気が戻りました。久しぶりの旅行、楽しみにしています！ **ハバロフスク/ダリア**



一日も早く海外旅行が解禁しますように！